

平成 23 年度「特別支援教育総合推進事業（特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究）」報告書

団体名	山口県教育委員会
研究開始年度	平成 23 年度

I 概要

1 指定校の一覧

設置者	学校種	学校名（ふりがなを付すこと）
公立	特別支援学校	やまぐちけんりつとくやまそうごうしえんがっこう 山口県立徳山総合支援学校
公立	特別支援学校	やまぐちけんりつやまぐちそうごうしえんがっこう 山口県立山口総合支援学校

2 研究テーマ

- 関係機関と連携した、自閉症の特性に応じた教育課程の編成と効果的な指導や支援の在り方
- 自閉症の特性に応じた、小学部・中学部・高等部を一貫した柔軟な教育課程の編成の在り方

3 研究の内容

- (研究内容)
- 自閉症のある児童生徒の教育課程の現状と課題の整理
 - ・校内及び近隣の小・中学校対象のアンケートの実施による教育上の課題の把握
 - ・関係機関や保護者等の参画を得た研修や事例検討による教育的ニーズの把握
 - 外部人材の参画による授業公開及び事例検討等の実施による指導方法等の改善
 - ・各教科等の指導における自閉症の特性に応じた指導方法等の改善
 - ・将来の家庭生活や職業生活に向けた早期からの連携した支援や配慮の検討
 - 自閉症の特性に応じた教育課程の編成
 - ・教科別内容一覧等の先行研究の成果を活用した児童生徒の実態把握と指導内容の整理
 - ・自閉症の特性に応じた学習集団の構成や教材の工夫及び学習環境づくり
 - 先進校等視察
 - ・自閉症の特性に応じた特色ある教育課程の編成及び実践
 - ・将来の生活に必要な能力、自閉症の特性を踏まえた授業改善の工夫等の情報収集

(評価の観点及び評価方法)	
評価の観点	評価方法
・研究事業全般に係る評価	・研究運営協議会において、研究のねらい、方法、達成度等について評価を行う。
・外部専門家等の参画等により、指導方法等の改善、教職員の専門性への意識の深化が図られたか。	・授業公開、授業研究を行うとともに、教職員、保護者、関係機関等へのアンケートを実施し、評価を行う。
・特別支援学校間、地域の小・中学校特別支援学級、関係機関、保護者等との連携協力体制により、指導や支援が円滑に進められたか。	・事例検討会、合同研修会を行うとともに、連携の在り方や進め方等について、教職員、保護者、関係機関等へのアンケートを実施し、評価を行う。

4 研究成果の概要

<p>< 県立徳山総合支援学校 ></p> <p>○自閉症のある児童生徒の教育課程の現状と課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から、「コミュニケーション」「人間関係の形成」「心理的な安定」と関連付けた指導内容の設定の重要性を明らかにすることができた。 <p>○外部人材の参画による授業公開及び事例検討等の実施による指導方法等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症の特性に応じた指導の観点から各教科・領域における現在の指導内容を見直すことができた。 ・視覚的支援や代替コミュニケーションの利用など、自閉症の特性に応じた指導方法の改善を図ることができた。 <p>○自閉症の特性に応じた教育課程の編成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に自閉症の特性に応じ重点的に指導・支援を行う内容を整理することができた。 ・音楽や体育において、小学部から高等部までの間に身に付けさせたい力を洗い出すことで、学部間連携の必要性を一層意識することができた。 <p>○先進校等視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会性の育成に重点を置いた取組を参考にすることで、教育課程の検討、学習集団の構成の在り方の検討を進めることができた。 <p>< 県立山口総合支援学校 ></p> <p>○自閉症のある児童生徒の教育課程の現状と課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師や保護者から得た自閉症の特性に関する知見や学校へのニーズを、教育課程の検討に生かすことができた。 <p>○外部人材の参画による授業公開及び事例検討等の実施による指導方法等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討をとおして、自閉症のある児童生徒の指導には、日々の具体的な目標の設定及び障害の特性に応じた手立てと配慮の蓄積が重要であることが明らかになった。 ・外部専門家の助言をもとに、学習環境の整備、教材の工夫や視覚支援、社会性を育むための集団構成の工夫等の授業改善を進めることができた。 <p>○自閉症の特性に応じた教育課程の編成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部を中心に、自閉症に対応した教育課程を実践する中で、障害の特性に応じた指導方法や指導形態、集団構成の在り方について検討を進めることができた。 ・各学部の教育課程の実施状況について共通理解を図り、小・中・高等部を一貫した教育課程編成に向けた学部間の連携協力体制の素地を構築することができた。 <p>○先進校等視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症のある児童生徒への教育に特色のある特別支援学校の取組を参考にすることで、コミュニケーションや社会性に関する指導内容の検討が進んだ。
--